

氏名	有竹清夏	部署	健康開発学科	職名	准教授
研究分野	臨床生理学, 睡眠学, 時間生物学				
学位	博士 (保健学)				
学歴	2000年東京医科歯科大学医学部保健衛生学科卒業, 2003年東京医科歯科大学大学院保健衛生学研究科博士前期課程修了, 2006年東京医科歯科大学大学院保健衛生学研究科博士後期課程修了				
経歴	2000年日本大学医学部助手, 2001年国立精神・神経センター精神保健研究所/病院 研究員, 臨床検査技師, 2010年日本学術振興会特別研究員PD, 2012年ハーバード大学医学部/ブリガム&ウィメンズ病院リサーチフェロー, 2013年早稲田大学スポーツ科学学術院助教, 2017年東京大学大学院教育学研究科特任助教, 2017年埼玉県立大学健康開発学科准教授				
所属学会 (役職)	日本睡眠学会 (評議員, 国際機関誌編集委員), 日本時間生物学会 (評議員), 日本PSG研究会 (幹事), 日本臨床神経生理学会, 日本臨床衛生検査技師会, 日本臨床検査学教育学会, American Association of Sleep Technologist (AASST), American Academy of Sleep Medicine (AASM), National Sleep Foundation (NSF)				

【2019年度実績】

1. 研究業績						
(1) 著作						
	著作の名称	単・共	ISBN	発行所、全ページ数	著者、編者名	発行等年月
1	第2章 眠る。「睡眠を育む」. 乳幼児の発達と保育 一食べる・眠る・遊ぶ・繋がる一.	共著	あり	朝倉書店, 232ページ	有竹清夏 監修: 秋田喜代美, 編者: 遠藤利彦, 渡辺はま, 多賀殿太郎	2019.8
(2) 論文						
	論文の名称	単・共	査読	雑誌名、巻(号)、開始-終了ページ	著者、編者名	発表等年月
1	Periocular skin warming elevates the distal skin temperature without affecting the proximal or core body	共著	あり	Sci Rep. 9(1):5743	Ichiba T, Suzuki M, <u>Aritake-Okada S</u> , Uchiyama M.	2019.4
2	Diurnal repeated exercise promotes slow-wave activity and fast-sigma power during sleep with increase in body temperature: a human crossover trial.	共著	あり	J Appl Physiol. 127(1):168-177.	<u>Aritake S</u> , Tanabe K, Mochizuki Y, Ochiai R, Hibi M, Kozuma K, Katsuragi Y, Ganeko M, Takeda N, Uchida S	2019.5
3	眠りの科学.	単著	なし	情報誌NEXT, 7-8.	有竹清夏	2019.9
4	運動が睡眠に与える影響. アスリートと睡眠	単著	なし	睡眠医療, in press	有竹清夏	2020.3
(3) 学会発表						
	学会発表の演題	単・共		学会名、開催都市	発表者 (発表者は○印)	発表等年月
1	成人における運動・足浴による温熱刺激と体温リズム・睡眠構造. [シンポジウム]体温リズムと睡眠	単独		日本睡眠学会44回定期学術集会, 名古屋	○ 有竹清夏	2019.6
2	足浴を用いた温熱刺激による昼間睡眠中の睡眠構造及び体温の変化.	共同		日本睡眠学会44回定期学術集会, 名古屋	○ 岡田(有竹)清夏 , 中島悠, 上永吉幸奈, 三枝桃菜, 中島未祐	2019.6
3	大学生の運動負荷に対する心機能と生活習慣との関連性	共同		第47回埼玉県医学検査学会, 埼玉	○飯島竜星, 門岡あかり, 菅原海莉, 細江みずき, 伏見もも, 北畠義典, 有竹清夏	2019.12
4	身体運動が睡眠中の動脈血流量に与える影	共同		第47回埼玉県医学検査学会, 埼玉	○菅原海莉, 飯島竜星, 細江みずき, 伏見もも, 門岡あかり, 北畠義典, 有竹清夏	2019.12
5	身体運動が覚醒中の皮膚温・頸動脈血流量に与える影響	共同		第47回埼玉県医学検査学会, 埼玉	○門岡あかり, 菅原海莉, 伏見もも, 飯島竜星, 細江みずき, 北畠義典, 有竹清夏	2019.12
6	女性の卵胞期および黄体期における運動が昼間睡眠中の皮膚温・睡眠構造に与える影響	共同		第47回埼玉県医学検査学会, 埼玉	○伏見もも, 細江みずき, 門岡あかり, 菅原海莉, 飯島竜星, 有竹清夏	2019.12
7	モノラルビートが昼間睡眠中の睡眠構造及び体温に与える影響	共同		第47回埼玉県医学検査学会, 埼玉	○細江みずき, 伏見もも, 飯島竜星, 門岡あかり, 菅原海莉, 有竹清夏	2019.12

(4) その他					
	名称	単・共	発表場所等	発表者（発表者は○印）	発表等年月
1	Basel Seminar Series on Circadian Rhythms and Sleep. スイスバーゼル大学でのセミナー招待講演	単独	スイス バーゼル大学	○Sayaka Aritake-Okada	2020.1
2. 競争的資金等の研究					
	競争的資金等の名称		研究名	研究代表者・研究分担者の別	研究期間
1	文部科学省科学研究費基金 (若手B: KAKENHI 15K18980)		身体運動による不眠症患者の睡眠構造および主観的睡眠時間の変化に関する検討.	研究代表者	2015.4-2020.3
2	文部科学省科学研究費補助金 (基盤B: KAKENHI 16H05593)		フレイル高齢者における体温リズムに着目した睡眠マネジメントの開発と検証.	研究分担者	2016.4-2020.3
3	厚生労働科学研究費補助金 (19FA1009)		健康づくりのための睡眠指針「2014」のブラッシュアップ・アップデートを目指した「睡眠の質」の評価及び向上手法確立のための研究	研究分担者	2019.4-
3. 教育業績					
(1) 講義					
	講義の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）	
1	生理機能検査学Ⅰ	○	15	2年次前期3.4限 30時間：科目責任者として心電図, 脳波, 筋電図などの基礎および臨床に関する講義, 定期試験作成・実施を行った.	
2	生理機能検査学Ⅱ	○	8	2年次前期3.4.5限 15時間：科目責任者として呼吸機能検査の講義, 定期試験作成・実施および非常勤講師の対応を行った.	
3	生理機能検査学Ⅲ	○	8	3年次前期1.2.3限 15時間：科目責任者として感覚機能検査の講義, 定期試験作成・実施および非常勤講師の対応を行った.	
4	画像検査学	○	15	3年次前期1.2.3限 30時間：科目責任者として画像検査の講義, 定期試験作成・実施および非常勤講師の対応を行った.	
5	生理機能特論	○	8	4年次後期2限 15時間：科目責任者として生理機能全般に関する講義・演習を行った.	
6	臨床検査概論		1/8	1年次前期5限 2時間：科目担当者として生理機能検査概論を講義した.	
7	検査機器総論		1/15	1年次後期 2時間：科目担当者として病院見学に帯同した.	
8	生態情報評価学		3/15	大学院博士前期課程1年次 6時間：科目担当者として講義を行った.	
9	Zurich University of Applied Sciences/ZHAWおよび香港理工大学の留学生対象の本学Summer School		-	スイス チューリッヒアプラインサイエンス大学(ZHAW)および香港理工大学の留学生を対象にLet's get a good night's sleepというテーマで講義を行った.	
10	Zurich University of Applied Sciences/ZHAWにおけるWinter School		-	スイス チューリッヒアプラインサイエンス大学(ZHAW)で行われているWinterSchoolのプログラム（約1週間）において教育活動を行った.	
(2) 演習					
	演習の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）	
1	人体生理機能演習	○	30	2年次前期3.4.5限 30時間：科目責任者として生理学実習の説明・実演および実習指導を行い, 非常勤講師の対応を行った.	
2	検査総合演習Ⅱ		2/15☒	4年次後期2.3限 4時間：科目担当者として臨床検査科目のうち生理機能検査学について総括を行った.	
3	心電図解析演習A☒		2/8☒	3年次前期5限 4時間: 科目担当者として理学療法学科の学生を対象に心電図の講義, 心エコーの実演指導を行った.	
4	心電図解析演習B☒		2/8☒	3年次前期5限 4時間: 科目担当者として作業療法学科の学生を対象に心電図の講義, 心エコーの実演指導を行った.	
5	健康福祉科学演習		-	大学院博士前期課程1年次: 科目担当者として演習指導などを行った.	

(3) 実習				
	実習の名称	科目責任者	学外実習：期間 学内実習：コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	生理機能検査学実習	○	23	3年次前期1.2.3限 45時間：科目責任者として循環器、脳神経、呼吸機能の検査項目9種類について実習書を作成し、それをを用いて学生に実習指導を行った。
2	画像検査学実習	○	23	3年次後期3.4.5限 45時間：科目責任者として超音波画像、感覚機能の検査項目種類について実習書を作成し、それをを用いて学生に実習指導を行った。
3	臨地実習		2019.12-2020.3	3年次後期 45時間：科目担当者として3年次学生の臨地実習受入施設への訪問・対応、学生対応などを行った。また臨地実習担当として学生の病院施設配置や実習に関するガイダンスなど種々の指導を行った。
4	IPW実習		2019.9	4年次後期 4日間：科目担当者として4年次学生のIPW実習受入施設への訪問・対応、学生対応などを行った。
(4) 論文指導				
	対象	期間	主指導・副指導の別及び指導人数	
1	卒業論文	2019.4～2019.12	主指導 5名	副指導 名
2	修士論文	2019.4～2020.2	主指導（指導教員） 名	副指導（指導補助教員） 2名
(5) その他				
	名称	期間	概要（教育内容・方法等において工夫した点）	
1	東京医科歯科大学医学部保健衛生学科	2019.4-2020.3	3年次生理検査学II：非常勤講師として生理検査学の講義を担当した。	
4. 社会貢献活動				
(1) 講演会、研修会、公開講座等の講師				
	講演会、研修会、公開講座等の名称	主催	講演、研修、公開講座等のテーマ	開催年月
1	彩の国いきがい大学講義	いきいき埼玉	眠りの科学、-よい眠りを得るための睡眠健康法-	2019.6
2	高崎市立北小学校 学校保健委員会	高崎市立北小学校	睡眠の重要性について考えよう～心身の健康や学力との関係から～	2019.10
3	第6回獨協越谷医療圏睡眠医療懇話会 獨協大学さいたま医療センター	PHILIPS	睡眠障害を判定する代表的な検査 ～PSG検査総論～	2019.10
4	千代田町立西小学校 学校保健委員会	千代田町立西小学校	子どもの眠りを守る・子どもの睡眠	2019.11
5	鴻巣市立鴻巣南中学校 学校保健委員会	鴻巣市立鴻巣南中学校	問題は、生活リズム(睡眠)にあり！ 睡眠の大切さを知ろう	2019.12
6	第7回北関東睡眠医療懇話会 獨協大学病院	PHILIPS	睡眠障害を判定する代表的な検査	2019.12
7	大宮 すなおクリニックライブセミナー	すなおクリニック	終夜睡眠ポリグラフ検査について	2020.1
8	東北大学病院	東北大学医学部	睡眠と概日リズム	2020.2
9	武田薬品工業 本学産学連携特定講座	武田薬品工業株式会社	臨床試験におけるPSGおよびMWTの概要とポイント	2020.2
10	日本臨床衛生検査技師会第3回PSG研修会	日本臨床衛生検査技師会	PSG判定ルールについて_過眠症（ナルコレプシー&特発性過眠症）	2020.3
11	埼玉県立南校高等学校 学校保健委員会 (新型コロナ事情により延期)	埼玉県立南校高等学校	勉強や運動のパフォーマンスを上げるための睡眠のコツ	2020.3
(2) 国、自治体、学術団体等における委員等				
	国、自治体、学術団体等の名称	委員等の名称		任期
1	日本睡眠学会	評議員		2007.7-
2	日本睡眠学会	生涯教育セミナー作業部会委員		2007.7-
3	日本睡眠学会	国際機関誌編集局員		2016.7-
4	日本時間生物学会	評議員		2010.4-
5	日本PSG研究会	幹事, 学術交流部所員		2010.4-
(3) ジャーナリズムでの発言				
	メディア等の名称	内容		年月
1	小学館 女性セブン	連載企画「明日はわが身の伴走介護」：睡眠の大切さと寝具選び 取材		2020.3

(4) その他				
	項目	相手方等	内容	期間
1	産業支援	製薬会社	臨床試験に関する中央判定業務	2019.5-
2	産業支援	USEN株式会社	音楽が入眠および目覚めに与える効果についての産学連携共同研究	2020.2-
3	産業支援	武田薬品工業株式会社	臨床試験に関する医療技術支援	2020.2-
5. 学内運営				
	項目	内容		期間
1	全学的委員会及びセンター業務等	研究推進委員会		2018.4-2020.3
2	全学的委員会及びセンター業務等	男女共同参画委員会		2018.4-2020.3
3	学科等における委員会等	臨地実習担当		2018.4-
4	学科等における委員会等	大学院教務担当, 大学院博士後期課程設置ワーキンググループ		2018.4-
5	学科等における委員会等	将来構想検討ワーキンググループ		2019.8-
6	大学広報活動	6/9、8/3、8/4にオープンキャンパスにて頸動脈エコー等体験コーナー実施		2019.6, 2019.8
7	学生支援	学生担任教員(3年), 学生担当アドバイザー, 学習及び進路などの相談・支援		2019.4-
8	国際交流活動	本学留学生対象のサマースクールでの講義, スイスチューリッヒアプラインヘルスサイエンス大学ウィンタースクールでの教育活動		2020.1
6. 受賞(研究、教育、社会貢献活動に関するもの)				
	受賞名	主催	受賞年月	
1	第47回埼玉県医学検査学会 埼玉臨技奨励賞	埼玉臨床検査技師会	2020.3	
7. 特許の取得				
	特許名	特許番号	登録年月	
1	該当なし			
8. 特記事項				
	該当なし			